

## 小児科学講座

<b>1. 【教育】</b>	
1-1. 到達目標	こどもの総合内科診療医として、必要な知識、技術を会得し、様々な疾患に適切に対応することはもちろん、こどもの健全な成育を支援する環境整備、また未だ解決していない難治疾患、病態不明疾患に対し、臨床並びに基礎研究を進めていく総合的な医療人となることを目標とする。
1-2. 現状説明	各分野、臓器別の教育コースにおいて、小児・若年者の特性理解を含めた学部教育に始まり、卒後臨床研修での指導、また専攻医研修プログラムを通じて、新生児を含む各臓器分野疾患、また1次から3次までの医療機関、療育施設も含めすべての次元の施設で研修する体制を整えている。
1-3. 点検・評価	システムとして上記、教育・研修体制を整えて、各レベルの教育研修について、ある程度の評価機能はそれぞれ設定されている。一方で、全体を通じた総合的な評価システムについては未確立。
1-4. 目標・改善方策の達成度	学部教育に十分な時間を割くとともに、ローテートの初期研修医の研修をコンスタントに引き受けている。結果として毎年数人ずつは小児科専攻医プログラムに入る人員を確保し、研修進捗状況に個人差はあるものの、小児科専門医試験合格者も毎年数人ずつ得られている。更にサブスペシャリティ専門医合格者についてもそれぞれの分野で合格者を輩出している。
<b>2. 【研究】</b>	
2-1. 到達目標	各分野において、治療を主体とした臨床試験、また、病因・病態解析、病因に関わる遺伝学的解析を通じて、難治性疾患、病態不明疾患に対し、臨床並びに基礎研究を着実に進めていくことを目標とする。
2-2. 現状説明	希少また難治性であることを特徴とした小児がん疾患を中心に全国レベルの臨床試験に積極的に参加するとともに、他分野を含め複数の臨床試験の研究代表を務めている。現時点で、難治性リンパ芽球性リンパ腫の全国規模の多施設共同臨床第Ⅱ相臨床試験、シトリン欠損症への中鎖脂肪酸補充治療多施設第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験において当講座が研究代表を担っている。
2-3. 点検・評価	それぞれの研究課題に取り組む中、関連学会、研究会への報告、また論文発表を適宜行い、その数を把握、内容を含め点検・評価している。
2-4. 目標・改善方策の達成度	ある程度の研究実績は上げているものの、全分野においてコンスタントに十分な実績を積んでいるとは必ずしも言えない。
<b>3. 【診療】</b>	
3-1. 到達目標	最新の標準治療を各種難治性疾患に適応させていくとともに、患者さんの健康な成育のための環境整備を含めた十分なフォローを他(多)職種の協力を得つつ行っていく。
3-2. 現状説明	日進月歩の進展がみられる中、各臓器分野にわたり、最新の標準治療を提供できている。一方で、全人的成育環境整備については、環境社会的資源が十分でない分野もあり、外部へのさらなる働きかけが必要である。
3-3. 点検・評価	各種新薬、新規治療、また難易度の高い外科疾患について、適応のある患者さんに、きちっと施設内対応するとともに、施設として困難な場合は、適切な集約施設に紹介する等の実績を自己点検しながら積んでいる。
3-4. 目標・改善方策の達成度	上記の様に、治療的対応は十分達成できていると考えられるが、全人的成育環境整備については、行政における福祉や教育担当の協力が必ずしも十分に得られているとは言えない。
<b>4. 【社会貢献】</b>	
4-1. 到達目標	最新標準の医学的対応を通じて、地域に貢献するとともに、これからの小児医療を担う人材教育、また小児医学の発展に寄与する臨床的、基礎的研究を通して、単なる地域貢献を超えて社会の発展・維持を図る。
4-2. 現状説明	多くの疾患について、1次から3次医療まで県内ワンストップで診療を受けられる体制を構築している。県内での対応資源が得られない一部の希少疾患については、全国レベルで集約すべき施設に紹介、状態安定後のフォロー治療を行っている。
4-3. 点検・評価	多くの疾患について、1次から3次医療まで県内ワンストップで診療を受けられる体制を構築している。県内での対応資源が得られない一部の希少疾患については、全国レベルで集約すべき施設に紹介、状態安定後のフォロー治療を行っている。
4-4. 目標・改善方策の達成度	最新の標準治療の実践という点では、十分に達成している。社会理解については、地方紙への啓発記事掲載、患者会での講演、市民講演会の実施等で少しずつだが、一般の方への理解・浸透を着実に推進している。

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・四分位 (Quartile)	刊行状況	研究情報備考
1-1. 論文/原著 (査読有)	Hino A, Terada J, Kasai H, Shojima H, Ohgino K, <u>Sasaki A</u> , Hayasaka K, Tatsumi K	Adult cases of late-onset congenital central hypoventilation syndrome and paired-like homeobox 2B-mutation carriers: an additional case report and pooled analysis.	J Clin Sleep Med. 2020 Nov; 16(11): 1891-1900. PMID:32741443	IF=3.586, Q2		B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Kikkawa Y, <u>Hashimoto T</u> , Takizawa K, Urae S, Masuda H, Matsunuma M, Yamada Y, Hamada K, Nomizu M, Liapis H, Hisano M, Akioka Y, Miura K, Hattori M, Miner JH, Harita Y	Laminin $\beta 2$ variants associated with isolated nephropathy that impact matrix regulation	JCI Insight. 2021 Mar; 6(6): e145908. PMID:33749661	IF=6.205, Q1	E Only	B E
1-1. 論文/原著 (査読有)	Miyatake S, Kato M, Kumamoto T, Hirose T, Koshimizu E, Matsui T, Takeuchi H, Doi H, Hamada K, Nakashima M, Sasaki K, Yamashita A, Takata A, Hamanaka K, Satoh M, Miyama T, Sonoda Y, Sasazuki M, Torisu H, Hara T, Sakai Y, Noguchi Y, Miura M, Nishimura Y, <u>Nakamura K</u> , Asai H, Hinokuma N, Miya F, Tsunoda T, Togawa M, Ikeda Y, Kimura N, Amemiya K, Horino A, Fukuoka M, Ikeda H, Merhav G, Ekhlévitch N, Miura M, Mizuguchi T, Miyake N, Suzuki A, Ohga S, Saitsu H, Takahashi H, Tanaka F, Ogata K, Ohtaka-Maruyama C, Matsumoto N.	* De novo ATP1A3 variants cause polymicrogyria.	Sci Adv. 2021 Mar; 7(13): eabd2368. PMID:33762331	IF=13.117, Q1	E Only	B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Hinokuma N, Nakashima M, Asai H, <u>Nakamura K</u> , Akaboshi S, Fukuoka M, Togawa M, Oana S, Ohno K, Kasai M, Ogawa C, Yamamoto K, Okumiya K, Chong PF, Kira R, Uchino S, Fukuyama T, Shinagawa T, Miyata Y, Abe Y, Hojo A, Kobayashi K, Maegaki Y, Ishikawa N, Ikeda H, Amamoto M, Mizuguchi T, Iwama K, Itai T, Miyatake S, Saitsu H, Matsumoto N, Kato M.	Clinical and genetic characteristics of patients with Doose syndrome	Epilepsia Open. 2020 Sep; 5(3): 442-450. PMID: 32913952		E Only	B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Shiina Y, Taniguchi K, Nagao M, <u>Takahashi I</u> , Niwa K, Kawakubo M, Inai K	The relationship between extracellular volume fraction in symptomatic adults with tetralogy of Fallot and adverse cardiac events.	J Cardiol. 2020 Apr; 75(4): 424-431. PMID:31615743	IF=2.246, Q3		E
1-1. 論文/原著 (査読有)	Izumita Y, Nishigaki S, Satoh M, Takubo N, <u>Numakura C</u> , Takahashi I, Soneda S, Abe Y, Kamasaki H, Ohtsu Y, Igaki J, Hasegawa Y, Nagasaki K	Retrospective study of the renal function using estimated glomerular filtration rate and congenital anomalies of the kidney-urinary tract in pediatric Turner syndrome	Congenit Anom (Kyoto). 2020 Nov; 60(6): 175-179. PMID:32638418	IF=1.761, Q3		B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Yatsuga S, Amano N, Nakamura-Utsunomiya A, Kobayashi H, Takasawa K, Nagasaki K, Nakamura A, Nishigaki S, <u>Numakura C</u> , Fujiwara I, Minamitani K, Hasegawa T, Tajima T	Clinical characteristics of cytochrome P450 oxidoreductase deficiency: a nationwide survey in Japan	Endocr J. 2020 Aug; 67(8): 853-857. PMID:32321882	IF=1.952, Q4		B
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	<u>須藤陽介</u> , <u>佐々木綾子</u>	【NICU卒業生の予後と診療のポイント】代表的な新生児疾患 慢性肺疾患 在宅酸素療法を中心に	小児科診療. 2020年9月;83(9):1137-1142			
1-2. 論文/総説及び解説 (査読無)	<u>三井哲夫</u>	【リンパ腫の診療update-治療の最新動向-】小児/若年者のリンパ腫.	日本臨床. 2021年3月;79(3):458-467			

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・四分位 (Quartile)	刊行状況	研究情報備考
1-2. 論文/総説及び解説 (査読無)	佐々木綾子、早坂清	【難病研究の進歩】呼吸器 先天性中枢性低換気症候群	生体の科学. 2020年10月;71(5):454-455.			B
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	Nagasaki K, Takase K, Numakura C, Homma K, Hasegawa T, Fukami M	* Foetal virilisation caused by overproduction of non-aromatisable 11-oxygenated C19 steroids in maternal adrenal tumour	Hum Reprod. 2020 Nov;35(11):2609-2612. PMID:32862221	IF=5.733, Q1		B
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	Watanabe Y, Numakura C, Tahara T, Fukui K, Torimura T, Hiromatsu Y, Tomotsune K, Yamakawa M, Hayasaka K	Diabetes mellitus exacerbates citrin deficiency via glucose toxicity	Diabetes Res Clin Pract. 2020 Jun;164:108159. PMID:32335094	IF=4.234, Q1		B
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	Sato H, Kawasaki N, Kawasaki M, Abiko Y, Meguro T, Takahashi N, Izumino H, Kanno M, Numakura C, Sasaki A, Imamura T, Taki T, Mitsui T	Three Consecutive Cases of Familial Hemophagocytic Lymphohistiocytosis, Including a Case Due to Maternal Uniparental Disomy	J Pediatr Hematol Oncol. 2020 Nov;42(8):e819-e821. PMID:31789783	IF=1.016, Q4	E Only	B
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	Yamamoto S, Nagamori T, Komatsu S, Shirai M, Suzutani T, Oki J	A case of congenital herpes simplex virus infection diagnosed at 8 months of age.	Brain Dev. 2020 Apr; 42(2): 369-372. PMID:32001045	IF=1.504, Q4		E
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	山田恵、大森さゆ、山田洋輔、長谷川久弥、佐々木綾子、早坂清、佐藤清二	呼吸生理学的に軽症と診断した先天性中枢性肺胞低換気症候群 非ポリアラニン伸長変異	日本小児科学会誌. 2020年10月; 124(10): 1509-1513.			B
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	鈴木康太、小田切徹州、藤井隆、高橋辰徳、安孫子雅之、三井哲夫	造影剤腎症を発症し持続血液濾過透析を導入した成人チアノーゼ性先天性心疾患の1例	日本小児循環器学会雑誌. 2020年6月; 36(2): 166-172.			B
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	藤井隆、須藤陽介、佐々木綾子、永井康貴、青木洋子、三井哲夫	HRAS G12V変異による最重症のCostello症候群	日本小児科学会雑誌. 2021年3月; 125(3): 461-466			B
1-7. 論文/その他	高橋辰徳、安孫子雅之、小田切徹州、小林正義、三井哲夫	山形県における学校心臓検診の現状	平成31年度山形小児保健会委託研究報告書		E Only	B
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	沼倉周彦	IGSF1異常症における低プロラクチン血症は遅れて出現する	第47回日本マスキリーニング学会学術集会, Web開催; 2020年9月26-27日			A
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐々木綾子	COHSにおける遺伝子診断・症状・合併症	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 京都; 2021年3月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	沼倉周彦, 田宮元, 植木優夫, 岡田知雄, 米沢俊一, 石井加奈子, 村上潤, 堀川玲子, 徳原大介, 伊藤孝一, 安達昌功, 安孫子貴洋, 三井哲夫, 早坂清	シトリン欠損症における成長障害の検討	第123回日本小児科学会学術集会, Web開催; 2020年8月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	沼倉周彦, 椎原隆, 大通尚, 北中幸子, 鳴海覚志, 西村玄, 三井哲夫	5歳からバミドロネートを開始し成人年齢に達したOsteoporosis-pseudoglioma syndromeの一例	第93回日本内分泌学会学術総会, Web開催; 2020年7月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	沼倉周彦, 村中あかり, 三井哲夫	FT <sub>4</sub> スクリーニングで検出したが、その後甲状腺機能が正常化した中隔視神経形成異常症の1例	第47回日本マスキリーニング学会学術集会, Web開催; 2020年9月26-27日			A
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	江口誠、橋本多恵子、金子直人、石塚喜世伸、三浦健一郎、西田隼人、安宅謙、荻野大助、三井哲夫、服部元史	* 小児期発症FGSGで末期腎不全に至り、ドナー選定前にPAX2遺伝子変異を検出した一家系例	第55回日本小児腎臓病学会学術集会, Web開催; LIVE配信; 2021年1月9日(土)~1月10日(日) オンデマンド配信; 2021年1月20日(水)~2月3日(水)			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	Nakamura K, Abe C, Inoue K, Iida A, Abiko I, Goto Y, Kato M.	A male patient with an IQSEC2 deletion comparing with a female case of the same variant.	第62回日本小児神経学会学術総会, Web開催; 2020年8月			B

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・四分位 (Quartile)	刊行状況	研究情報備考
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	<u>Abiko T, Nakamura K, Yamamoto S, Muranaka A, Furuyama M, Toyota K, Sendo D, Kato M, Mitsui T</u>	An 8-year-old boy with orthostatic dysregulation presented slow wave bursts by orthostatic challenge	第62回日本小児神経学会学術集会, 新潟市 (Web開催); 2020年9月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	<u>高橋辰徳、安孫子雅之、藤井隆、松木惇、粟野裕貴</u>	胸郭変形/側弯症患者における腹臥位が血行動態に与える影響	第56回日本小児循環器学会, 京都; 2020年11月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	<u>目黒亨、簡野美弥子、佐藤裕子、川崎直未、石垣隆介、上村雄太、阿部拓哉、三井哲夫</u>	全身型若年性特発性関節炎に合併し、再燃との鑑別を要したALL14歳女子の臨床経過	第82回日本血液学会学術集会, WEB開催; 2020年10月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	<u>上村雄太、目黒亨、簡野美弥子、佐藤裕子、川崎基、川崎直未、石垣隆介、松内祥子、村中あかり、三井哲夫</u>	ギルテリチニブを使用したFLT3-ITD陽性小児急性骨髄性白血病の2例	第62回日本小児血液がん学会学術集会, 福島; 2020年11月			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読有)	<u>安孫子 貴洋, 中村 和幸, 山本 志保, 小林 信也, 石川 明雄, 三井 哲夫</u>	小児神経疾患の網羅的検査における 効率的な髄液・血漿・尿アミノ酸 判読方法の検討	第26回日本小児神経学会東北地方会, 盛岡市 (Web開催); 2020年11月			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読無)	<u>上村雄太、目黒亨、簡野美弥子、川崎基、川崎直未、石垣隆介、五十嵐丈人、三井哲夫</u>	外来小児がん患者における感染症発生状況の検討	第113回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2020年12月			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読無)	<u>松内祥子、須藤陽介、佐々木綾子、武士明弘、中村潤、三井哲夫</u>	* 腸間膜裂孔に起因する胎児腸軸捻転症の1例	第113回日本小児科学会山形地方会, 山形市; 2020年12月6日			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読無)	<u>五十嵐丈人、荻野大助、橋本多恵子、武士明弘、阿部尚弘、中村潤、三井哲夫</u>	* ステロイド依存性ネフローゼ候群に合併した腸管気腫症の1例	第113回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2020年12月6日			
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読有)	<u>藤井隆、粟野裕貴、高橋辰徳、安孫子雅之、上村雄太、石垣隆介、簡野美弥子、三井哲夫</u>	神経芽腫に対する自己末梢造血幹細胞移植後に肺高血圧症を発症した1例	第55回東北発達心臓病研究会, 宮城; 2020年11月			
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>簡野美弥子、川崎基、森福治、佐藤裕子、松内祥子、川崎直未、目黒亨、上村雄太、三井哲夫、阿部尚弘、中村潤、真弘光章</u>	* 移植経過後に腸管気腫症を発症した□家族性血球貪食症候群の男児	東北小児血液疾患研究会, 仙台; 2021年3月20日			
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>村中あかり、沼倉周彦</u>	GH分泌不全を伴うSIX1遺伝子変異をもつ Branchio-oto-renal 症候群	第10回東北小児内分泌やまびこの会, 宮城; 2020年10月31日			
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>阿部 拓哉、木村 敏之、板垣 里奈、衛藤 義勝</u>	神経障害性疼痛を契機に診断されたFabry病の12歳男児例	第14回ファブリー病シンポジウム, WEB講演会; 2021年2月			B
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>須藤陽介、佐々木綾子、沼倉周彦、松内祥子、三井哲夫</u>	16番染色体母親性ダイソミーの1例	第37回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2020年9月			
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>安孫子雅之</u>	CHD-PHIについて	日本新薬社内勉強会, 山形 (オンライン講演); 2020年8月			
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>安孫子雅之</u>	山形県における川崎病の治療実態	レミケード®川崎病Webセミナー, 山形 (オンライン講演); 2021年3月			
2-5. 学会報告/その他	<u>安孫子貴洋</u>	先生おしえて! 冬の時期子どもがかかりそうな感染症とその対応	mama*jam無料オンライン講座, 山形市 (Web開催); 2021年2月			
5. 学会等での受賞	<u>Takahiro Abiko</u>	第62回日本小児神経学会学術集会English Session奨励賞	第62回日本小児神経学会学術集会, 新潟市 (Web開催); 2020年9月			
6. その他	<u>荻野大助</u>	やまがた医療塾 腎臓疾患 初期段階 症状なくとも尿異常	朝日新聞. 2020年10月10日 第2山形面			
6. その他	<u>簡野美弥子</u>	やまがた医療塾「小児がん」	朝日新聞. 2021年1月22日			